

令和元年 飯田市教育委員会 第2回臨時会会議録

令和元年 7月29日(月) 午前1時30分開会

【出席委員】

教育長	代田 昭久
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	伊藤 昇
教育委員	三浦 弥生
教育委員	小澤 由美子

【出席職員】

教育次長	今村 和男
学校教育課長	桑原 隆
学校教育専門幹	高坂 徹
学校教育課長補佐	滝沢 拓洋

日程第1 開 会

○教育長（代田昭久） 皆さんこんにちは。定刻になりましたので、ただいまより令和元年飯田市教育委員会第2回の臨時会を開会いたします。

日程第2 会期の決定

○教育長（代田昭久） 日程第2 会期の決定。
本日の第2回臨時会、本日1日のみとさせていただきます。
よろしくお願ひいたします。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（代田昭久） 日程第3 会議録署名委員の指名。
本臨時会の会議録署名委員は、三浦弥生教育委員にお願いしたいと思います。
◇教育委員（三浦弥生） よろしくお願ひします。
○教育長（代田昭久） よろしくお願ひいたします。

日程第4 議案審議（1件）

議案第42号 小学校及び中学校教科用図書採択について

○教育長（代田昭久） 日程第4 議案審議。
本臨時会では、議案第42号「小学校及び中学校教科用図書採択について」お諮りをしたいと思ひます。
この案件につきましては、長野県教育委員会では、飯田・下伊那地区を教科書の共同採択地区と設定しております。
本会を公開として審議することは、ほかの町村教育委員会の審議に影響があると判断しますので、地方行政法の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、本案件を公開せずに審議したいと思ひます。
お諮りいたします。
議案第42号につきまして、公開せず審議することにご異議ございませんか。
（「ありません」の声あり）
○教育長（代田昭久） ご異議なしと認めます。

よって、議案第42号は、公開せず審議することと決定いたしました。

次に、審議は公開しないで行いますが、議事録の公開についてお諮りしたいと思います。

教科書の採択権者は、会議の記録、議事録等の公表の努力義務が課せられていますので、議事録については、公表するということがよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（代田昭久） ご異議なしと認めます。

よって、議案第42号に関する議事録については、公表すると決定いたしましたのでよろしくお願いたします。

それでは、飯田市教育委員会会議規則第15条の規定により傍聴者の退席をお願いします。

(傍聴者退席、傍聴者いないため退席する者なし)

○教育長（代田昭久） ありがとうございます。

それでは、議案審議を始めたいと思います。

事務局より説明をお願いいたします。

桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） それでは、議案第42号「小学校及び中学校教科用図書の採択について」をお願いいたします。

前段、概要を説明させていただきまして、あと一覧表に基づきまして選定理由をご説明申し上げたいと思いますのでよろしくお願いたします。

採択する教科書につきましては、飯田市の小学校において令和2年4月1日から令和6年3月31日までの間使用する全教科の教科用図書、それから、中学校につきましては、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間使用する特別な教科道徳を除く全教科の教科用図書をご採択いただきたいものでございます。

なお、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第5条で、「当該採択地区内の市町村の教育委員会は、採択地区協議会における協議の結果に基づき、種目ごとに同一の教科書用図書を採択しなければならない」と規定されておりまして、飯田・下伊那の小中学校は、同一の教科用図書を使用することとなります。

教科用図書の採択につきましては、7月の12日に下伊那採択地区協議会と調査研究委員会の合同会議及び下伊那採択地区協議会が開催されまして、調査研究委員会からの調査研究報告に基づき採択地区協議会にて審議をされました。

採択地区協議会におきまして、飯田・下伊那地区において使用する教科書用図書が選定された旨の通知がございましたので、今回それを受けて教育委員会で採択をお願いするという

ものでございます。

採択する教科書につきましては、資料1枚目、小学校の国語から特別の教科道徳までの1教科13種目。

それから、2枚目は中学校、令和2年度の使用する教科用図書選定の一覧で、中学校の国語から英語まで9教科15種目の教科です。中学校につきましては、学習指導要領が令和3年度から変わるということがございますので、1年間のみの採択ということになります。今使っている教科書をそのまま1年間延長して使っていくという考え方で、採択地区協議会で選定されたものでございます。

ですので、1枚目の小学校のほうにつきまして、種目ごとに発行者・書名、それから、選定理由につきまして記載してございますが、ご説明を申し上げますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、2枚目の令和2年度以降使用教科用図書選定一覧表をご覧いただきたいと思ひます。

まず、国語でございます。光村の国語でございます。これ、今取り出したのは6年の教科書でございます。中は、こういった感じでございます。

選定理由でございます。

「児童の発達段階に応じた身近で魅力的な話題・題材が取り上げられ、『どう学習するか』を具体的にイメージしながら学ぶ中で『言葉の力』が身につくよう配慮されていると共に、系統化された情報教材と単元を関連させて学ぶことで、確かに力を伸ばすよう工夫されている。設問や課題の表現、使用文字やカラー印刷の色に学習のユニバーサルデザインを考え、『多様性への配慮』がなされているため、学びやすい教科書となっている。」という選定理由でございます。

続きまして、書写でございます。これも光村の書写でございます。これが6年の書写の教科書になります。こういった感じになります。

選定理由でございます。

「発達段階に応じて、習得と活用を繰り返しながら書写の基本が習得できるよう配慮されている。教科書の大きさも、小学校の机の大きさにかなっている。また、児童の気づきをもとにした『考えてから書く』という学習展開、国語教科書と連動した教材の設定、日常生活とのつながりが実感できる書写活動教材からも、児童が見通しを持って、主体的に学習に取り組むことができる教科書となっている。」ということでございます。

続きまして「社会」です。東京書籍の「新しい社会」という教科書でございます。これは

6年生の政治・国際編でございます。こういう感じですが。

選定理由でございます。

「社会事象を関連づけて多角的・多面的に考え、選択・判断したことを適切に表現できるように場面構成が配慮され、問題解決的な学習が展開できるように工夫されている。また、資料は見やすく内容も豊富で、比較関連させて学びを深められるよう掲載されている。小単元の『まとめる』は、学習の整理に活用し、知識の定着や思考判断力及び表現力等の育成に効果的である。」

続きまして、社会の地図でございます。帝国の「楽しく学ぶ小学生の地図帳」でございます。

「地形図が全体的に鮮明な色調でまとめられ、地形図の情報を読み取り易いよう配慮されている。」ということで、標高差といいますか、そういうのがわかるような配慮がされているということ。それから、「また、地図帳の使い方について冒頭で丁寧に扱われている。初めて地図帳を手にする3年生からの使用に対応した地図表現や資料が豊富に用いられており、どの学年でも主体的に学べるように工夫されている」ということでございます。

続きまして算数。啓林館「わくわく算数」というものでございます。これは5年生の教科書でございます。

こんな感じになっております。

「系統性を重視した単元構成で、数学的活動を積極的に取り入れながら、知識・技能を確実に身につけるとともに、筋道立てて主体的に考え、思考力・表現力・判断力等が育まれるよう工夫されている。また、新しい物事を理解し、創造する能力と主体的に学習する態度を養うことができるよう工夫されている。」ということでございます。

続きまして理科。信教の「新しい理科」、これが5年生でございます。

「各単元で、児童の意識の流れに沿って問題解決が連続的に展開されるように工夫されている。既習事項を想起したり、目的に応じた実験方法や結果の考察を考えたり話し合ったりする場面が持てるように構成されている。生物分野では長野県の地域性を考慮し、動植物の生育状況に合った単元配列になっており、児童が直接自然に触れて学習を進められるよう配慮されている。」

続きまして生活、信教の「せいかつ」でございます。「あおぞら」「そよかぜ」と上下の2巻になっています。

「多様な『感動体験』『探求活動』『表現活動』を通し、対象への思いが深まるような学び合いを位置づける配慮がなされている。また、長野県の地域性を大事にした場面展開を設定

し、県外の学校の実践をもとにした写真・挿絵・文章・作品等を掲載し、地域性や季節感を感じながら学べるように工夫されている。」

続きまして音楽。こちらでございます。教育出版「音楽のおくりもの」でございます。

「各学年に『音楽ランド』が設けられ、子どもたちの興味や習熟に応じて、多くの教材の中から選択できるよう配慮されている。また、拡大写真や見開きの写真があり、教材の情景や心情が捉えやすく、様子を思い浮かべながら歌うことができるように配慮されている。総合的に、学習の見通しや活動がわかりやすく明示され、資質・能力を育みながら、学びが深まる構成や配列になるよう工夫されている。」

続きまして図画工作になります。日本文教出版の「図画工作」です。これ今1・2年の上下でございます。

「全学年を通して、同じ素材や用具に繰り返し関われるよう題材を系統的に配置し、発達の段階に応じて学びを深めていくよう工夫されている。また、めあてを達成する子どもの姿や友との活動場面を取り上げるとともに、題材との出会いから終末までが子どもの目線で構成されており、子ども自らが創造的発想や構想を生み出しながら造形表現の楽しさを味わうことができる。」ということでございます。

続きまして、裏面へ行きまして家庭でございます。東京書籍の「新しい家庭」、これは5・6年の教科書でございます。「今日の食事」というページです。

「身近な生活の問題を題材の導入で提示し、問題解決的な学習を3ステップで配置することにより、日常生活に必要な基礎的理解を深めるとともに、生活を創造する力が養えるよう工夫されている。また、児童同士で対話ができるよう『話し合おう』『深めよう』等の学習活動が示されており、友達との協働により深い学びや実践的態度の育成につながるよう配慮されている。」

続きまして、保健でございます。東京書籍の「新しい保健」、病気の予防のページでございます。

「発達段階に応じた文章や資料の配列となっており、学習意欲が高められるよう配慮がされている。また、主体的・対話的な学びにつながるように、『学習過程が課題提示、学習方法の提示、思考・判断・表現、学習のまとめ・活用』の4つのステップでわかりやすく構成され、何を学んだか整理しながら知識を習得できたり、より発展的に学ぶことができたりするよう工夫されている。」

続きまして外国語・英語でございます。東京書籍の「NEW HORIZON」です。

「『聞く』『話す』から『読む』『書く』活動へ展開されるよう内容が構成され、実際のコ

コミュニケーションにおける基礎的な技能を習得するよう工夫されている。言語活動の際に使う語や表現が別冊の『Picture Dictionary』にまとめられており、児童の習熟の度合いに応じて取り組めるよう配慮されている。」

最後は道徳でございます。光村図書、「道徳 きみがいちばんひかるとき」です。ここは命の勉強となります。

「同じ年代の児童が登場する読み物、伝記等で知られる先人や現在活動する人物の子どものころの葛藤を扱った教材などにより、児童が自分と重ねながら道徳的価値に気づくことができるように工夫されている。年間を3つのまとまりに分け、考え話し合うことを中心に、問題解決的、体験的な学習を通して自分の生き方についての考えを深め、道徳性を養うことができるよう配慮されている。」

小学校の教科書の選定につきまして、理由をご説明申し上げます。

中学校のほうにつきましては、記載のとおりでございますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ただいま事務局のほうから、それぞれ採択された教科書、その選定理由を説明をいただきましたけれども、委員の皆さんのほうでそれぞれ見ていただいて、ご意見いただければお伺いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

はい、三浦教育委員お願いします。

◇教育委員（三浦弥生） お願いします。

私は、保健・体育ということで、保健の教科書を読まさせてもらっています。今、ご説明ありましたとおり、私、見させていただきましたが、東京書籍の教科書が良いかなというのが感想です。

理由は2点あります。特に、新学習指導要領で5年生に「応急手当」が入ってくるといった観点から、応急手当のところを特にピックアップして見させていただいています。

理由は2点でして、応急手当について、きちんと東京書籍さん、押さえるポイントがわかりやすく明確になっていたということが1点です。ほかにも文教社、大日本図書ということで、気づき・判断、気づいて判断して、実際の技術を表現、活動していくといった流れをきちんととらえられているなというように感じましたけれども、それにも増してやはりわかりやすくなっている点で、東京図書さんの教科書が一番優れているのかなというふうに見せてもらっています。

もう1点は、内容が東京図書の応急手当の内容が教科書といったところにはとどまらず、

実際にけがをして、自分が応急手当をした後にも、「これでよかったのかなあ」ということで、後で確認をできると思うような、そんなようなわかりやすい絵ですとか、処置の流れがきちんと記載されていまして、東京図書が一番いいのではないかなという私は感想を持ちました。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ほかいかがでしょうか。

◇教育長職務代理者（北澤正光） ほかの教科であっても。

○教育長（代田昭久） そうですね、もう教科を選ばずにご発言いただければと思います。

北澤教育長職務代理者、お願いします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） まず、国語ですけれど、私も光村図書の国語がいいなあというふうに思いました。

一番の理由は、ほかの教科書でも同じだと思うんですけど、教師にとって教えやすい教科書がいいのか、子どもにとって学びやすい教科書がいいのかというようなことを考えたときに、やっぱり学ぶのは子どもなので、子どもにとって学びやすい教科書という視点が1つはどの教科書を選ぶときにも大事ななあというふうに見ていったときに、国語で言うと、光村図書の場合は、結論部分の活字が非常に鮮明で、説明の文が端的でわかりやすいということを感じました。

それから、子どもの活動をいつも中心においた構成を考えているというところがとてもいいなと。それに準ずるのは東京書籍ですけれど、東京書籍もとても丁寧な導入で、子どもの立場でわかりやすい説明で、例示もいいんですけど、結論部分の活字が小さくて、ちょっと子どもにとって使いづらいんじゃないか。

また、イラストを使って説明しているような部分が多いのですが、特に1年生なんかの教材を見たときに、女の子が的外れな意見を言って、そういう意見は違うよねというようなふうに教材が流れているので、いつも女の子がちょっと的外れを言う役を負っているのも、ちょっと気になる場所もあって、総合的に見たときに光村図書の教科書が一步出ていると思っています。以上です。

○教育長（代田昭久） 複数教科がある方は、ちょっと順を追いながらですけれども、各教科、それぞれでいいと思うんですが。

じゃあ私のほうから、国語なので、書写のほうを意見申し上げたいんですけども、どの教科書も子どもたちの書きやすいように非常に教科書の色使いとかユニバーサルデザイン

化が非常に進んでいるなあというふうに思いました。

その中でも、光村図書と東京書籍のものがその中でも少し一歩出ている感じのわかりやすさがあるかなあというふうに思っています。

その中で、光村図書のほうが良いかなというふうに感じたのは、いきなり書くんじゃなくて考えてから書くという、事前に筆を起す前に先を見通したような設計になっていて、それが児童が主体的に、また、見通しを持って書写ができるということの工夫があるかなあというふうに思いました。

教科書の大きさが違うんですね。東京書籍のほうは少し大判になって、見ると見栄えはして、それはそれで子どもたちにとってはいいかなあという視点もあるんですけども、やはり小学校の大きさの机に載せるということを考えてときには中くらいのサイズがいいんじゃないかというような判断をさせていただき、書写のほうも光村図書が良いというふうな私自身は持ちました。

ほかいかがでしょうか。

ちなみに、先ほど三浦教育委員からありました保健のほう、私も読んできたんですが、私も東書の保健を推したいなあというふうに思います。「非常にわかりやすく書きやすい」というのが三浦教育委員からありましたけれども、単純に書く欄だけ見ていると非常に広いんですね。東京書籍、非常に書きやすく、書きにくいということで子どもたちが学習意欲をそぐわないように、そういうことのないように、そういったことの配慮は非常にできているなあというふうに思いました。

また、長野県、また、飯田市も授業の3観点、狙い・めりはり・見届けと、こういう3観点を強調している中で、この保健の4つのステップと書いてありますけれども、課題の提示と学習方法の提示、思考判断・表現力そして学習のまとめといったところが順序よく構成されているので、飯田市の子どもたちにとっては非常に授業の3観点が入りやすい教科書かなあというふうに思い、私は東書のほうを良いのではないかというふうに思いました。

ほかはいかがでしょうか。

はい、小澤教育委員お願いします。

◇教育委員（小澤由美子） 私あんまりちょっとよくわからなかったんですが、1つ1つ見ていく中で、それぞれに良いところがたくさんあった中で、私は、社会科が東京書籍さんが良いなと思いました。ほかもよかったですけど、情報がたくさんあって、それをすべて多分覚えなきゃいけないんですけど、あり過ぎちゃってどこから見たらいいのかわからなくなってしまってます。

でも、この東京書籍さんは、ここを調べるとか、ここをつかむとか、ここを生かすとか、そういうところがボンボンボンとあったので、わからなくなってもそこを学べばいいんだというところに戻れるというか、そういったところが。

この教育出版さんも同じようなところがあったんですけども、それでも東京書籍さんのほうが使いやすいかなとか、漠然とですが。素人なので申し訳ありません。

そんな感想です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

伊藤教育委員お願いします。

◇教育委員（伊藤 昇） 本がたくさんありましたので科目を絞って、特にまた学年を絞って。私もたまたま社会科だったんですけども、6年生の歴史でした。

今、小澤さんのおっしゃっていたのと全く同じ感想で、どれもやっぱり3観点を重視はしているんですが、その中で東京書籍さんがやっぱりつかむ・調べる・まとめる、これ本当に見やすいなあと。

私は自分が歴史を学ぶ生徒になったつもりで見たんですけども、この本がなんか一番入りやすいなあと、素人ながらそう思いました。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

じゃあ私のほうで、上から来て算数なんですけれども、子どもたちが算数ってどうしても興味・関心が寄せられることが難しい教科でもあるかなあと思ったときに、図や表、そして写真などを比較していくと、例えば線対称とか点対称にいろんな写真が載ってきます、世の中の線対称。

この啓林館は、例えば平等院鳳凰堂の湖に映ったものを線対称としていったんですけども、そういった写真1つ1つの選び方が非常に丁寧で、また、写真もきれいなものを扱っているなあとというふうに思いました。-

その背景には、やっぱり算数嫌いを作らないというか、算数がおもしろいものなんだというのを社会との関連の中で意識しているなあとということがとても印象に残っています。

また、QRコード、いろんな教科書についていますけれども、QRコードも中見てみると、宿題やわからないところもできる工夫があって、算数の場合、少し抜け出ているなあとという感想を持ちました。

ほかいかがでしょうか。

北澤教育長職務代理者。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 理科と生活科に関わってのところでは。

どちらも信教出版の生活科と理科ということですが、「教材は身近に、身近でないものなるべく身近にする工夫」ということは授業をしていくときの鉄則だというふうに思っているんですけど、特に小学校で扱う教科書ということで、生活科は1・2年生ということで、なるべく自分に身近な地域性も大事にされた教科書という点で、この信教出版のは、まさに長野県の教育実践されたものを集約した中から編まれている教科書ということで、とても長野県の子どもたちにとっては学びやすい身近な教材から入るようにできていると思います。

それを受ける形で理科につながっていくわけですが、そういう点でも県内の特に生物分野とか、地質、地学分野なんかのところは長野県の写真等を豊富に取り入れているという点で、生活科と理科はこれでいいというふうに思います。

ただ、その先のことを考えていったときに、ただ県内のことにとどまっているというのではなくて、だんだん学年が進んで、特に中学校といった段階では、広く世界に目を向けて地球規模で学べるような教科書でというふうに、これを土台にしながら発展していく、選定していくことが大事だというふうに思っています。

以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

それでは、私も理科について、今の北澤教育長職務代理者と近い知見なんですけれども、やはり身近な題材が多くあるというのは学問を学ぶ上では大事な視点で、それは非常に充実しているなあというふうには思います。

ただ、その一方で、もう発達段階において、地元のことばかりじゃなくて、世界や、もっと日本の広い視野をするときに十分な情報量があるかという視点も大事なんですけれども、その点、最低限のというか、必要十分の情報もしっかり、いわゆる県外の情報も収められるんじゃないかなというふうに思います。

地層の問題のところでも、長野県の地層だけではなくて、日本で一番有名な千葉の地層を載せたりとか、そういうところは見られているんじゃないかなというふうに思っています。

ただ、今後ですね、いろいろデジタル教科書や、さらに各出版会社がいろいろな情報を入れてくる中では、そこは地元の情報プラス世界規模での、県外での情報もしっかり入れる必要があるんだろうなとそんなふうに思っています。

ほかにはいかがでしょうか。

北澤教育長職務代理者、お願いします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 道徳です。道徳は新しく小学校で教科化されるということで、全部で8つの教科書会社がかかり力を入れて作られた教科書、いずれも検定を通っているものなので、どの教科書もとても感動的な読み物資料とか伝記がそろえられていて、どれも読むだけでも勉強になるなあというふうに見させていただきました。

これも冒頭で言いましたように、要するに教師の側にとって扱いやすい教科書なのか、学ぶ子どもにとって考えたり、友達との意見交換の中で自分が気づかされたりすることがたくさんある、そういう教科書なのかというような観点で見えていったときに、今度その8つの教科書がそれぞれの教科書会社によって个性的で、読み物資料だと大抵3つぐらいの発問がついていて、その読み物を読みながら、その3つぐらいの発問について考えながら子どもたちが学んでいくというそういう編集になっているんですけど、その中身が結構、「これを読んで、あなたならどんな行為ができますか」といった、行動まで求める発問になっている教科書が幾つかあります。「こういう行為は良いことだなあ」と気づいても、それを実際に自分の行動に移すというところとは次元が違うと思うんですね。

「何でも良いことだと気がついたら、それをすぐに行動に移しましょう」というようなふうにつなげていく教科書は、毎週1回ある道徳を、毎時間そんなパターンの授業が展開すると、子どもたちにとって道徳の時間ってかなり苦しい時間になってしまうんじゃないかなあと思います。

新しい学習指導要領での目標は、「道徳性を養うこと」が目標になっているので、ついてはその行為までいかななくても、みんなで考え合って、友達の意見が聞けるということを中心にした教科書がいいと思います。

そんな視点で見たとき、光村図書とか、あかつきの教科書はとても柔らかい発問でよくできていると思いました。そんな中で光村図書は、ほとんどの学校は3学期制になっているので、年間の教材の枠を大きく3つに分けて、1学期の学習の振り返りをし、2学期の目標を持ち、2学期の学習の振り返りをし、また3学期へというふうに、学校の子どもの学びに合わせる形で教材が配列され、配慮がされているという点で、とても使いやすい教科書になっていると思います。以上です。

○教育長（代田昭久） はい、ありがとうございました。

ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（代田昭久） それでは、まず小学校と中学校を分けて確認をとりたいんですけども、今は小学校のほうの来年度以降使用教科書の選択書名、選択理由のほうをご議論いただきま

したが、採択に選定された教科書のほうでよろしいでしょうか。

(賛意を表す者あり)

○教育長(代田昭久) はい、それでは、異議なしと認めます。

続きまして、中学校のほうの選定図書の一覧ですけれども、これは昨年度選定され、引き続きあと1年ということですので、これは引き続きこの選択理由のもと、もう一度採択するというのが委員会の選定理由であります。皆さんのほうでご異議ございませんでしょうか。

(賛意を表す者あり)

○教育長(代田昭久) ありがとうございます。異議なしと認めたいと思います。

それでは、議案第42号に関して、教科用図書の採択についての議論を閉じさせていただきます。ありがとうございます。

どうもありがとうございました。

本日の議案審議は、以上となります。

日程第5 その他

○教育長(代田昭久) 日程第5 その他、今後の日程についてお願いします。

滝沢学校教育課長補佐をお願いします。

◎学校教育課長補佐(滝沢拓洋) はい、今後の日程につきましては、前回7月の定例会の折に示させていただいたものと変更ございませんので、記載のとおりが日程となっております。

以上です。

○教育長(代田昭久) ありがとうございます。

その他、報告等ある方はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

日程第6 閉会

○教育長(代田昭久) それでは、日程第6。

以上をもちまして、令和元年飯田市教育委員会第2回臨時会を閉じさせていただきます。

どうもありがとうございました。

閉 会 午後2時11分